



秋田県五城目町

みんなの町議会



目次

- 9月定例会の経過 2~3
- 常任委員会の焦点 4~5
- 決算特別委員会報告 6
- 一般質問に6名登壇 7~12
- 議員研修報告 13
- 請願・陳情 14
- あれ なんと なったべが！ 15
- 楽しんでます・がんばってます 16

No. 124

2015年10月1日

ふるさとCM大賞めざして
みんなで撮影中(朝市通り)

武田副町長 選任に同意

議会の経過

9月定例会は9月7日から17日までの11日間の日程で開かれた。

一般質問には6名が登壇し、子育て支援の対策、役場前信号機を時差式に、行政改革と町づくり、五城目小学校建設の考え方、農業従事者の高齢化対策、地域防災計画など、町長の政治姿勢をたじた。

提出案件は平成27年度一般会計補正予算案、個人情報保護条例制定案、平成26年度各会計決算認定案など31件。

渡邊町長は行政報告で「五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、若者が希望をもって暮らせる地域社会の構築を目指したい」と述べた。

行政報告のあと、決算委員7名で決算特別委員会を設置、代表監査委員による監査報告が行われた。

各常任委員会・決算特別委員会の審査を行い、最終日は各委員長報告の後、全議案を可決・認定、陳情2件を採択・1件を継続・1件を不採択とし閉会した。



一般会計補正予算の主なもの

一般会計補正予算は4602万円を追加し、歳入歳出の予算累計総額は59億821万7千円。

補正の主なものは

- 一般管理費……………5808万円
 - 農地費……………1486万円
- などである。

特別会計の主なもの

- 介護保険特別会計…2481万円追加
 - 下水道事業特別会計…3155万円減額
 - 簡易水道特別会計…1458万円減額
- などである。

副町長の 選任に同意

武田 和栄氏(64歳)
高崎字前田4



人権擁護委員の 推薦に同意

藤本 正善氏(69歳)
字石田六ヶ村塚添46番地3



「憲法に違反する安全保障関連法案を 廃案とするよう求める」陳情を採択

秋田県平和委員会からの陳情「憲法に違反する安全保障関連法案を廃案とするよう関係機関への意見書提出を求め、賛成多数で採択された。本会議において反対の動議が出され、賛成多数で採択された。

陳情に反対の討論

畑澤 洋子 議員

国際社会の力のバランスの変化により我が国の安全保障環境が大きく変わった。国と国民を守るため、あらゆる事態に対応できる体制を整備するために、安全保障関連法案の整備は必要である。

陳情に反対の討論

館岡 隆 議員

安全保障関連法案は戦争法案では無い、また徴兵を実施する法案でもない。この法案は国防に關し備えあれば憂いなしと言いが抑止力を確立するための法案である。よって法案の整備は必要である。

採択に反対の議員

畑澤 洋子 館岡 隆
佐藤 成孝

採択に賛成の議員

佐々木仁茂 齋藤 晋
石井 光雅 佐藤 慶彦
伊藤 正春 荒川 達雄
佐藤 重信 荒川 正己
石川 交三 工藤 卓実

議場に居なかつた議員

千田 峯夫

総務常任委員会提出議案「憲法に違反する安全保障関連法案を廃案とする意見書」が



提出され採決となり、賛成多数で可決された。

原案に反対の議員

畑澤 洋子 館岡 隆
佐藤 成孝

原案に賛成の議員

佐々木仁茂 齋藤 晋
石井 光雅 佐藤 慶彦

議場に居なかつた議員

千田 峯夫

定数16名、議長を除き
欠席者1名、退席者1名

議会議員全員協議会

平成27年8月18日

1、協議事項

(1) 秋田朝日放送五城目テレビ中継所電波塔撤去に伴う土地使用者への補償について
(2) あきた創業サポートファンドの設立について

2、報告事項

(1) 富津内小学校跡地の利活用について
(2) 五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
(3) NHKのど自慢及び町政施行60周年記念式典について
(4) 社会保障・税番号制度について

3、その他

(5) 旧大川小学校の利活用に伴う公共施設オープン・リノベーション推進事業への登録について
(6) 五城目町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について



(齋藤 晋)

教育民生 常任委員会

消防庁舎 外構工事で紛糾



外構工事中の消防庁舎

4月27日に入札された消防庁舎外構工事の工事請負変更契約を締結するための議案が議会に提出された。323万1,360円の増額になるものである。主な工事内容は、ヘリポートのカラー舗装工事、車止め防護柵設置、L型側溝の布設、残土処理を含む土工などである。

審査に入る前に委員全員で現地視察を実施したところ、すでにL型側溝は布設済み、車止め防護柵の基礎工事も実施されており、残土はすべて処理されていたことから審査は紛糾した。

総務 常任委員会

富津内小学校跡地で 太陽光発電



ソーラー発電予定地

平成15年3月に閉校した富津内小学校の跡地約3haに太陽光発電事業を検討し、平成24年から発電事業者の誘致を行ってきた。

この度サステナジー株式会社（東京都）が100%出資して設立する「五城目ソーラー株式会社」が太陽光発電事業を行う。町内に法人登記をすることと町有地を貸し出すことで、20年間で約4,500万円の収入を見込んでいる。本格稼働は10月末を予定している。

起業支援の 充実を図る

秋田信用金庫から「あきた創業サポートファンド」設立の提案があり、起業支援の充実ができ、雇用創出や地域経済活性化につながることを期待できることから、町ではファンドに対し100万円を出資する。秋田市の500万円を始め男鹿潟上南秋田郡の市町村は各100万円を出資し、秋田信用金庫などからの出資を合わせるとファンド総額は1億円となる。投資対象は原則として会社設立から10年以内の企業、個人事業者については株式会社化の上で投資する。



起業支援の拠点

(佐藤 慶彦)



薬師山に建つ無線中継塔

(石井 光雅)

事業が完成した
ことから10月21
日竣工式を行う。
新庁舎での執務
は10月27日から
となる。

新消防庁舎は平成24年度に
周辺環境騒音調査業務・25年
度は土地買収と実施設計業
務・26年度は建設用地土地造
成工事と訓練塔を含む庁舎本
体建設工事・27年度は外構工

事と消防救急デジタル無線及
び高機能消防指令センター整
備事業を発注し、総事業費は
約9億5,244万円。救急
デジタル無線と高機能指令セ
ンター工事を除き、すべての
事業が完成した

10月21日 消防庁舎竣工式

委員 この工事は議会の議決
事項であり、議決前の事前着
工は認めがたい。議会軽視で
はないか。
当局 太陽光発電設備工事を
施工する上で、一部それらの工
事が必要なことから実施した。
委員 8月18日の議員全員協
議会で報告するとか、臨時議
会を開くべきでなかったか。

当局 そのとおりであった。
副町長 このたびの件は大変
申しわけない。今後このような
事のないよう充分気をつける。
この案件は最終日の本会議
でも、多くの意見が出され、
町長が陳謝した。

委員会の焦点

大槌町鮭祭りへ だまこ鍋で初参加

こんなことを審議しました 産業建設 常任委員会



朝市鍋まつりへ大槌町が参加

東日本大震災復興の絆とし
て、これまで大槌町とは様々
な分野で交流を深めてきた。
本町からは復興支援米の継
続、大槌町からは毎年朝市祭
りでの鮭汁の提供など交流を
続けてきた。
大槌町では東日本大震災発
生後、一時途絶えていた鮭祭
りを25年から再開し、今回本
町への出店要請があったこと
から12月6日に初めて参加す
ることが決まった。
五城目名物「だまこ鍋」の
無料提供や五城目朝市の模擬
開設、町物産協会による物産
販売などを行う。
大槌町の鮭祭りの盛り上が
りに少しでも貢献し、更なる
交流の絆が深まることを期待
したい。

青年就農給付金 制度が初めて夫 婦で活用される



新規就農者がキイチゴへ取り組む

青年就農給付金制度は、こ
れまで単身での活用例はあつ
たが、今回初めて大川地区の
1夫婦が、青年就農給付金の
開始型を活用し就農した。
経営内容は果樹と水稻栽培
の複合型である。この制度は
夫婦で新規就農した場合は、
1・5人分の給付金が支給さ
れる。
今後も給付金制度がさらに
活用され、新規就農者が増え
ることが望まれる。

(佐々木仁茂)

決算特別委員会

財政の大原則

「入るを計って出るを制す」を基本に



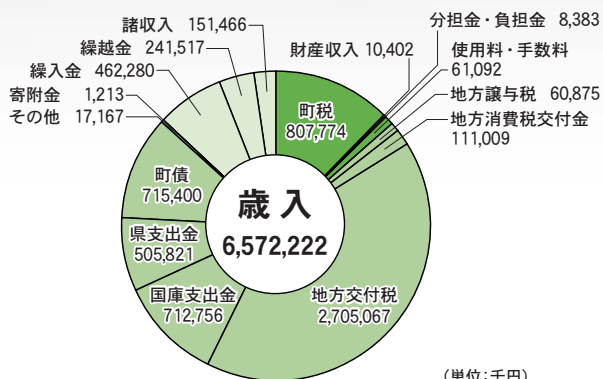
委員長
荒川正己

財政はひっ迫している

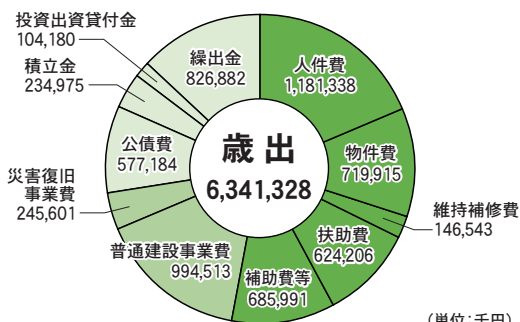
合併協議破綻後、町は自立計画を策定し財政の健全化に努め、町債残高は減少し基金残高は増加していた。

財政健全化の指標である将来負担比率は、平成19年152.3%から平成25年112%と順調に下がっていたが、平成26年度は112.7%とわずかに悪化。指標値的には35%の上限基準を下回って「良好」と見えるが、内容的には非常に厳しい状況となっている。同期の県内町村平均は123.6%から39.6%と大幅に下げている。財政の将来は厳しいとして基金積み上げなどの努力結果である。これに

平成26年度 一般会計性質別比較



(単位:千円)



(単位:千円)



委員長挨拶から審議開始

比して、本町の財政はひっ迫状態といわざるをえない。過疎化・少子高齢化、広い面積に多くの集落が点在し、

健全化指標は悪化

町有施設も数多く各地域に分散している。通常の町民サービス費用・維持経費も他町村より嵩んで当然の状況がある。

設備投資が大きく長期で回収効率の悪い上水道・下水道・簡易水道会計が人口減も加わり、長年実質赤字状態であり、その赤字を一般会計より多額の繰入金で補填してきた。その結果、介護保険料抑制の名目もあったが、3年連続で基金取崩しが続いた。平成27年度も取崩しとなる。消防庁舎建設の消防債など町債残高の増加もあり、健全化指標の悪化は免れない。

今後、し尿処理施設・防災無線・五城目小学校改築など、町民生活に不可欠な事業施策課題が数多く控えている。財政を念頭に、実施計画・行政改革推進プログラム・定員適正化計画を再検討し、事業の見直し取捨選択など慎重かつ大胆に進めるべきである。町長や財政担当者のみならず全職員、もちろん我々議員も財政ひっ迫の危機意識を共有し、広く町民の理解を得ることが重要である。

自主財源を無駄にするな

厳しい経済状況の中、新しい財源の確保、増額は困難でむしろ減額が必至である。現在ある財源を確実に確保することが重要である。

平成26年度は一般会計・特別会計あわせ、3千3百万円の不能欠損額(時効などで欠損処理した額)が生じ、多額の自主財源が消えた。収入未済額(未収金)も1億7千万円。貴重な自主財源を欠損処理に回してはならない。

町長を先頭に、全職員が一丸となり、税に限らず手数料負担金・保険料などの収納に努め、大事な自主財源を確保するという覚悟と態度を示し、町民の理解と協力を求めるべきである。全議案を認定すべきものと決した。

決算特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 荒川 正己 |
| 副委員長 | 佐々木 仁茂 |
| 委員 | 齋藤 晋 |
| | 石井 光雅 |
| | 畑澤 洋子 |
| | 荒川 達雄 |
| | 石川 交三 |
| 参 | 小林 正志 |
| 与 | |

あなたにかわって
聞きました

一般質問

若者定住のために 町営住宅・空き家の活用を

町長 総合戦略策定の中で検討する



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 町営住宅建設が一向に進まない。小坂町は町外から通勤する若者に「若者定住促進住宅」を建設し8世帯が転入・入居した。転入転出を

視野に入れた施策はあるか。県外からの移住・起業以外に町内在住の若者向けの施策も必要だ。

町長 転入増のための施策は、地域活性化支援センターを活用したイベント開催、更には地域おこし協力隊の活動を通じて、町への転入を検討する機会を増やしている。今後、総合戦略策定の中で検討していく。



小坂町若者定住促進住宅（オール電化・無料Wi-Fi）



子育てと仕事を両立できる環境に

子育て支援で「病児病後児保育」を

畑澤 家計が苦しい時代。出産後も働き続けるのは当然の権利だが両立には高いハードルがある。子供が病気で職場は長期に休めない。そんな時の病児病後児保育が必要だ。南秋では八郎潟町の体調不良児保育がある。秋田市・男鹿市の総合病院での病後児保育を参考に、広域で対応するべく、湖東厚生病院と協議

してはどうか。

町長 平成25年度のアンケート調査で「病児病後児保育施設の利用意向に関する調査」をした。利用したいとは思わないが64・8%。利用したいが33・8%だった。病後児保育は常に利用があるわけではないため、経営と言う点で厳しいと考えている。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



石川 交三
(日本共産党)

戦争法案は明確に違憲である

町長 国民世論を踏まえた審議を

石川 先の大戦はわが国による侵略戦争という認識か。

瀬戸内寂聴さんは戦争に良い戦争はないと言っているが受け止め方を問う。

町長 アジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えた侵略の行為は、深く反省すべきものだ。世の中に良い戦争はない。築き上げてきた平和主義に敬意を表し、恒久平和の確立を願っている。

教育長 「過去の武力や侵略を反省し戦争のない社会にしなければならぬ」「戦争を国際的な対立解決の手段として行うべきではない」ことは、皆共通の認識と思う。



国民世論を踏まえて

石川 慶大教授の小林節さんは秋田での講演で「安保法案は戦争法案であってアメリカの戦争に日本を軍事協力させるもので明白に違憲だ」と述べた。率直な答弁を求める。

町長 平和主義を基本とし、国民に対して十分な説明を行い、理解できるように具体的な議論を国民世論を踏まえて行ってほしい。



役場前の危険な交差点

役場前交差点は危険だ。時差式信号への切り替えを

石川 8月に交差点で車両事故が発生した。内容報告を。

消防長 車両同士の事故発生である。秋田市方向から走行してきた軽乗用車が馬場目方向へ右折の際、富津内方向から直進してきた軽自動車と衝突した。いずれも軽傷で医療機関に搬送した。

石川 馬場目方面へ右折の際、直進車と衝突の危険がある。信号を時差式にして矢印表示への変更を求めたい。

町長 交差点が変則で運転者が戸惑う様子が見受けられる。事故は5年間で13件発生して

おり、先日とも立て続けに2件発生した。警察署と道路管理者に対し協議していきたい。

水問題(益城庵・杉沢簡易水道)の解決策を問う

石川 益城庵と農家レストランは飲食業であり簡易宿泊所だ。慢性的な水不足の根本的な解決が必要だ。

町長 利用者と指定管理者に不便をかけている。水源そのものに異常を生じており、原因の究明と新たな水源確保対策を協議する。

石川 杉沢簡水は十分な水量の水源が確保されておらず不便を強いられる時がある。解決策を提示してほしい。

町長 毎年不安定な給水でお詫びする。配管の布設替えなどの事業を行ってきたが水源調査が思うような結果が得られない。配水池が完成すればかなり不便は解消されるが水源の脆弱さは解決しないので、ポーリング調査での地下水の可能性などを関係機関と協議したい。

友愛館の今後のあり方と具体的な構想は

石川 担当職員の努力で様々な事業展開をし、各教室の参加者からも好評を得ている。職員異動で現在1名の常時勤務だが、望ましい体制と考えるか。

町長 事業規模縮小だが各種講座を開催している。今後も交流人口増に努めたい。杉沢地区の皆様の意見を伺い、地域の活性化に資するよう運営形態の構築に努めていく。

石川 冬期間の運営をどうするか。前任者の成果のひとつである「シドケ」栽培に力を入れるべきだ。

町長 週2日程度の作業員雇用が必要だ。シドケは町の特産品開発につながることを将来目標としたい。

その他に

○戦没者追悼式の在り方と特別弔慰金についてを質問しました。

一般質問

ICT教育の推進を。 早期に1人1台のタブレット整備を

教育長 平成30年度中の導入をめざす



佐藤 慶彦
(会派に所属しない議員)

佐藤 ICT教育の柱であるタブレット型パソコンの小中学校への整備を進め一人一台体制を早期に図るべきだ。

教育長 中学校と小学校のコンピュータシステムの更新期にズレがあり、平成30年度中に更新期の統一を図りたい。またそのタイミングでタブレット20台を追加購入して30台を保有し、一人一台が使用できる1クラス対応を小中学校ともに目指したい。

佐藤 教育委員会にも文科省が掲げる平成31年までのICT戦略について情報提供し理解を深めてもらうべきである。

教育長 学校、教育委員会、町、議会がすべて同じ方向性になるよう「五城目町学校ICT整備・導入計画（仮称）」を策定し、タブレット導入の効果などを検証したい。



先進地ではすでに1人1台

まちづくりは 人づくりから

佐藤 職員の人材育成予算は20年前250万円であった。近年では20万円に満たない年もあり人材育成を怠ってきたと言える。職員数が約半分以上の大潟村は167万円の予算があり、我が町も確保すべきだ。職員には長期的・将来的な政策立案能力が求められる。

町長 厳しい財政状況の中、諸問題への対応が難しくなっており様々な分野で意欲的な取り組みが求められており、必要と判断される研修は受講に努め予算に反映させていきたい。

将来的な負担を 減らす材料に

佐藤 公共施設更新問題対応の基礎データとすべく平成26年度より公共施設利用者数を統一した集計方法にしたことにより、これまでと違った集計結果となったはずである。結果からみる町の考え方は。

町長 当町は数多くの施設を有しており、多数の施設において老朽化が著しいことから、維持管理に要する経費が膨大となり町財政を圧迫している。利用状況を1日毎の利用時間に基づいた稼働率、利用者数と利用料収入を集計している。結果は来年度策定する公共施設等総合管理計画に反映させるための基礎資料として統廃合の判断材料として活用する。

高齢者に優しい まちづくりを

佐藤 街路樹の根上がり箇所が多くなり高齢者をはじめとして歩行者に危険である。横浜市などが取り組んでいるように根が生育出来る隙間のあ

る特殊な土壌（根系誘導耐圧基盤材）を舗装の下に設けたパワーマックス工法などの対策を考えるべきだ。また危険箇所はどの程度把握しているか。

町長 横浜の工法は効果のあるものと思われるが県内で施工できる業者がいるのか、また費用がどの程度かかるか把握しておらず、将来的に増大する街路樹の維持管理費用をこのままにしてよいのか悩んでいるところであり時間をかけて検討したい。歩行に支障になっている箇所は合計24ヶ所である。

佐藤 屋内温水プール周辺の歩道整備を。町民センターと屋内温水プールの廊下整備により馬場目川沿いからの利用者にとって町民センターを迂回しなければ体育館側にいけなくなった。

町長 プールの野球場側フェンス沿いの整備を含め整備計画の策定を進めたい。

- その他に
- いいね募金箱
 - 地域おこし協力隊の増員
 - 消防団員確保アドバイザー派遣制度
 - 町民の歌の必修化
- を質問しました。

一般質問

し尿処理施設いつ着工か

町長 国・県へ新たな支援制度協議



荒川 達雄
(青雲会)

し尿処理施設建設 事業の進捗状況

荒川 事業全体が停滞している。完成までのスケジュールは。

町長 国・県へ今後の見通しなど説明、規制緩和、事業費支援を要望し一定の理解を得ている。厳しい財政状況の中でより有利な条件のもとで事業に着手したい。方向が定まるまで基本設計の委託を先延ばししたい。今後のスケジュールは希望も含め次の通りと考えている。

- 平成27年度 施設設備等の協議
- 平成28年度 基本設計・実施設計の委託・建設地選定
- 平成29年度 工事着手
- 平成30年度 供用開始

以上の流れが最短で進める予定だ。

荒川 建設地の選定は困難が予想される。早期の準備が必要でないか。

町長 建設地の選定においては施設の内容、規模を決定後、選定作業を進めたい。

荒川 厳しい財政の中での財源確保、補助金の活用をどう考える。

町長 希釈処理方式によるし尿処理施設は、国・県の補助金はない。過疎債を活用し事業を行いたいと考えている。今後新たな支援制度を県に要望しているところであり実現できるように期待している。

五城目小学校 改築へどう進む

荒川 基本計画では平成28年度から31年度までの4ヶ年事業となつている。計画通り進むのか、建設地の予定、財源の確保は大丈夫か。

町長 基本計画、実施設計に約1年、校舎建設に約1年半、屋内運動場、外構整備に約1年と想定している。建設地は災害などへの避難場所として

の機能、小中連携教育の推進も視野に入れ選定が進められるべきと考える。財源は、補助対象事業の要件となる耐力度調査を実施した結果、事業の対象となることから町の財政負担を総合的に検討したい。



改築が望まれる五城目小学校

企業誘致への取り組み

荒川 1億円基金の活用と五城目町千代田事務所の役割は。

町長 平成23年3月起業立地促進のため積み立てたが成果はでていない、今後に期待すると共に活用対象についても

検討したい。東京事務所については地域おこし協力隊の面接やイベントを通じながら人脈づくりには大きく貢献しており、今後も積極的に活用したい。

雀館運動公園エリア の将来像は

荒川 新しく温水プールもリニューアルし、このエリアも充実した。全体で年間6万人の利用客と言われているが町の将来像は。

町長 利用者数を増やすため町ホームページなどより広域的にPRに努めたい。



リニューアルした温水プール

一般質問

新規就農者の見通しは

町長

平成27・28年度で5名が 就農予定である



佐々木仁茂
(21期会)

佐々木 農家の高齢化が進む中で、今後の新規就農者の見通しと町独自の支援策は。移住者による就農希望への支援は考えているか。

町長 国の制度の青年就農給付金を活用し、未来農業フロンティア育成研修を終えての就農者が今年度1名、来年度1名がいる。

青年就農給付金の開始型を活用した1夫婦が今年度就農している。

就農支援は、県の補助事業において、町単独の嵩上げ支援を行う。

移住者の就農は、営農タイプに応じてその都度検討したい。

地域防災力の確立を問う

佐々木 土砂災害警戒区域の指定地区に対し、災害発生時の避難勧告や、避難準備情報発令、避難場所の指定などの対応が急がれる。町は今後、どのような体制をとっていくか。

災害発生時に、各町内会との連携をどのようにするか。

町長 町は、区域指定を受けて避難場所や避難経路に関することと、土砂災害警戒情報伝達に関する事などについて定めていくが、現在地域防災計画の見直し作業中であり、この中で検討する。

各町内会単位で設立をしてもらう、自主防災組織のマニュアルを策定中である。



森山下の土砂災害告知板

ふるさと再発見で町巡りマップを

佐々木 歴史と伝統文化、恵まれた自然、その中で暮らす人々のおおらかさ、お宝いっぱいの本町である。最近交流人口が増えている中で、さらにローカルな地域資源を発掘して町巡りマップを作り、町の魅力を最大限発信し、さらなる交流人口増を図るべきだ。

町長 提言された町巡りマップは、町の魅力発信の効果的な手法として検討していく。



人気のかやぶき古民家

選挙権年齢18歳以上引き下げで 学校教育の対応は

佐々木 今年6月に公職選挙法が改正され、来年夏の参議院選挙から、18・19歳も投票できるようになった。これにより、主権者として政治への参画意識を培う学校教育が今後鍵になると思う。教育現場での政治的知識の習得教育は、どのようにあるべきなのか。

義務教育段階では、社会科の授業などで、政治の仕組みや民主主義の精神などを学ぶ中で、有権者としての心構えを学ぶことになる。

教育長 高校では、政治に対する捉え方や考え方の学習、模擬投票の実施、選挙運動・選挙違反の基礎知識などを学ぶ必要がある。

その他に
○水田の土壌診断による土づくりを
○農作業事故の撲滅について

を質問しました。

あなたにかわって
聞きました

一般質問

マイナンバー制度は 町民・町にメリットあるか

町長 両者にメリットある



齋藤 晋
(21期会)

大丈夫なのか マイナンバー制度

齋藤 平成28年1月からマイナンバーの利用が始まるが行政としてのメリットは、そして町民のメリットは。

町長 マイナンバー制度による個人番号の利用は、社会保障制度・税制・災害対策に関する分野で使用する。

行政のメリットは、行政事務の効率化と、行政手続きの時間短縮、人的ミスの軽減があげられる。

町民のメリットは、各種申請の提出書類が少なくなる事、本人確認の身分証明書として利用できる事である。



マイナンバーカードの見本

大災害時 災害対策本部は適切に機能するか

齋藤 職員は大災害が発生すると災害対策本部へ動員される。登庁するまで、どの位の時間を想定しているか。

町長 第一配備が災害対策室、第二配備が災害警戒対

策部、第三配備が災害対策本部である。この対策本部は全職員が動員される。登庁までの時間は可能な限り速やかに考えている。

齋藤 災害対策本部が正規に機能するためには、職員の登庁時間が短いほうが良い。職員採用にあたり、町内からの採用が理想と思うが。

町長 年齢制限はあるが、男女や町内制限を設定することは適当でない。

GPSによる新除雪システム導入で除雪は変わるか

齋藤 新しい除雪システムが導入され、新規除雪業者も参入するが、路線の割り振りはこのように決めるのか。

町長 除雪請負業者を募集したところ、1社が撤退し1社が参入した。これにより路線配置を全く白紙とし、ゼロから見直し、現在検討協議している。

請負業者に希望する路線を出してもらい、その後、協議・調整して路線を決める。



こんなにある危険箇所

その他に
空き家対策について

- 8月現在で町の空き家状況は
- 空き家対策の方向性は
- 町営住宅の建て替え計画は
- 空き家を町営住宅として活用は出来ないか

除雪について

- 排雪を重視するのであれば完全除雪が出来るのでは

マイナンバー制度導入について

- 情報漏えい対策は、費用は

を質問しました。

議員研修

南秋の議員が勢ぞろい

研修名 南秋田郡町村議員大会

日時 平成27年7月28日

場所 グリーンロイヤル丸富

大会決議

- 一、湖東厚生病院の医師確保と救急医療体制の確立を期する
- 一、八郎湖水質浄化の抜本的な対策の早期推進を期する
- 一、八郎湖湖岸の堤防及び流入河川の整備を期する
- 一、八郎潟防潮水門の弾力的運用を期する
- 一、松くい虫被害対策及びヤマビル被害対策の一層の推進を期する
- 一、主要地方道秋田八郎潟線及び一般県道道村大川線、北ノ又井川線の早期整備を期する

講演

「少子高齢化からはじまる世界への挑戦」

講師

「五城目町地域おこし協力隊」

- 石田万梨奈氏
- 丑田 香澄氏
- 柳沢 龍氏

現地視察

地域活性化支援センター

参加議員

全議員

よりよい議会広報目指して

研修名 秋田県町村議会広報研修会

日時 平成27年8月7日

場所 ルポールみずほ

講演 住民に読まれ議会活動が伝わる

— 議会報の基本と編集技術 —

講師 議会広報サポーター 芳野 政明氏

参加議員

- 佐々木仁茂 齋藤 晋 石井 光雅
- 佐藤 慶彦 畑澤 洋子 伊藤 正春
- 石川 交三 小林 正志

地方創生を学ぶ

研修名 秋田県町村議会議員研修会

日時 平成27年8月7日

場所 秋田県市町村会館

講演

「地方創生に向けた議会の対応について」

中央大学名誉教授 今村都南雄氏

「新安保法制・70年談話 正念場を迎えた「強安倍政権」

政治ジャーナリスト 泉 宏氏

参加議員

- 佐々木仁茂 齋藤 晋
- 石井 光雅 小林 正志
- 佐藤 慶彦 畑澤 洋子
- 伊藤 正春 荒川 達雄
- 佐藤 重信 館岡 隆
- 千田 峯夫 荒川 正己
- 石川 交三 工藤 卓美
- 佐藤 成孝



諸課題の対応を学ぶ

研修名 第一回市町村議会議員特別セミナー

日時 平成27年8月3日～4日

場所

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

講演

- 「なぜ地域包括ケアシステムなのか」
- 「三鷹市が進める協働による地域福祉とコミュニティ創生」

参加議員

- 佐々木仁茂 齋藤 晋 石井 光雅
- 小林 正志 佐藤 慶彦 畑澤 洋子
- 伊藤 正春 荒川 達雄 佐藤 重信
- 館岡 隆 荒川 正己 工藤 卓美

これからの自治体経営を学ぶ

研修名

政策実務研修

「人口減少を前提としたこれからの自治体経営」

研修先

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

研修期間 7月22日～24日

参加議員

佐藤 慶彦

主な講義テーマ

- 「自治体資産の維持管理とPPP手法とPFI、コンセッション方式、指定管理者制度」
- 「佐倉市におけるファシリティマネジメントの取り組み」
- 「広域連携の組織と運営」

(荒川 達雄・佐藤 慶彦)

請願

陳情

陳情

採択

◆「所得税法第56号の廃止を求める意見書」の提出についての陳情

秋田県商工団体連合会

婦人部協議会会長 小玉 智子

不採択

◆マイナンバー制度の平成28年度1月実施の延期と改正案の連結を求める意見書の提出についての陳情

秋田県商工団体連合会

会長 小玉 正憲

継続審査

◆外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

福岡県行橋市今井3713-1

会長 小坪 慎也

採択

◆憲法に違反する安全保障関連法案を廃案とするよう関係機関への意見書の提出を求める陳情

秋田県平和委員会

代表理事 川野辺英昭

意見書送付

五城目町議会は議決した意見書を各関係機関に提出しました。

所得税法第56条の廃止を求める意見書

地域経済の担い手である中小業者の営業は、家族全体の労働によって支えられているが、日本の税制は自家労賃を必要経費と認めていない。家族従業員の人権保障の基礎をつくるために所得税法第56条を廃止することを求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
法務大臣 上川 陽子

安全保障関連法案を廃案とすることを求める意見書

安全保障関連法案を成立させることは立憲主義の崩壊を招くものであり、国民主権にも反するものである。したがって安全保障関連法案を廃案することを求める。

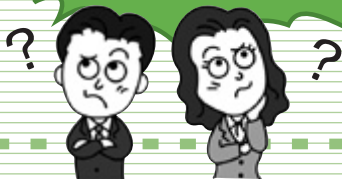
提出先

衆議院議長 大島 理森
参議院議長 山崎 正昭
内閣総理大臣 安倍 晋三
法務大臣 上川 陽子
外務大臣 岸田 文雄
防衛大臣 中谷 元

(伊藤 正春)



あれ



なんとなくだったべが!

平成26年9月定例会一般質問より

問

救急搬送体制の迅速化にタブレット活用を。

答 導入コストや費用対効果を検討し、社会情勢に見合った運用をしていく。

現在 現時点で導入していないが、タブレットの利点は多岐にわたり、医療機関への傷病者情報・映像伝送や統一された緊急判断検索機能の整備見通しがたつた場合に導入を検討する。

問

広ヶ野の一部（高崎地内）で下水道計画があるため、浄化槽設置ができず不便な生活を余儀なくされている。

答 指摘された地域は事業認可区域となっており、浄化槽設置補助はできないので早急に下水道整備を実施する。

現在 下水道は下流から計画的に整備してきており未整備区域はあとわずかとなった。
質問のあった区域については今年度工事請負契約を締結し整備に着手した。



広ヶ野下水道の工事

問

大川小学校を「道の駅」に再活用を。

答 利活用検討委員会を立ち上げ、地区町内会長からの要望を交え今年度中にまとめる。

現在 検討委員会の審議結果を町長に答申した。その後、総務省事業である「公共施設オープン・リノベーション推進事業」に登録し、利活用のアイデア募集を行っている。



大川小学校の今後は

問

事業評価シートの導入をすべからず。

答 客観的評価の導入は必要であり、検討したい。

現在 財務会計システムを来年度更新することになっており、更新後プログラム評価も含めて行政評価システム導入を検討することとしている。



楽しんでます

昭辰町 10日会

代表者 佐川キイ子さん
(左から2番目)



月 どういう方達の集まりですか。

佐川 毎月10日に集まる町内会の女性だけの「おしゃべり会」です。

月 何年になりますか。

佐川 平成21年7月10日から7年目です。

月 きっかけは

佐川 友人との会話から、昭辰町は高齢化率が高い町内で外に出る機会も、会話の機会も少なくなっている。「公民館に集まって、おしゃべりで元気になろう。」と始めました。

月 課題は。

佐川 参加率が3分の1位なので、もっと参加してほしい。金銭的には昼食代がかかるので、あまり負担にならないようにしている。億劫おっくうでも一度出れば楽しくなります。

「とことん楽しむ」を目標に工夫しています。10月は抹茶をいただきます。

月 町政・議会にご意見はありますか。

佐川 人の出入りが多い、明るい町になってほしい。若い人達が少ないせいでしょうか沈んでいる。町内会の統廃合などにも必要になってくると思う。
(取材：畑澤洋子)

がんばってます



五城目小学校5年
江畑 未羽みうさん
(浦横町)

私が今がんばっていることはバレーボールです。チーム名はスマイリーズといいます。

バレーボールを始めたのは近所に住む先はいの北嶋のよしか日和さんがやっていたことと、私のお母さんも、おばあさんもおばさんもやっていて、小さいころからテレビでも見ていて格好良いなと思ったからです。

毎週、火・木・金曜日に練習をしています。5年生になった今は番号をもらえなくて、くやしい思いもしました。でもお母さんが、「今は6年生が一生けん命がんばる番だから、未羽は

応えんで一番になりなさい。」と言ってくれました。

それからは、応えんを一生けん命がんばって、自分の時が来たら番号をもらって、試合に出てがんばりたいと思うようになりました。自分の番が来たら、アタックも、サーブも、レシーブもたくさん練習をして、みんなでもボールをつないで秋田県で一番のチームになりたいと思います。そして、もっともつとがんばって同じみょう字の江畑幸子選手のように活やくしたいです。

(取材：佐藤慶彦)

編集 後記



これから選挙権を得る若者も見ている中で、安保関連法案をめぐる国会が右往左往している。

これでもいいのだろうか。

また、日本や世界で地震・噴火・台風・豪雨など異変が起きている。

気象庁からは特別警報が発表され、「ただちに命を守る行動を取ってください」と最大の警戒呼びかけがある。

町では今年度中に防災計画を見直すことになっているが、災害が発生してから「想定外です」という言い訳をしない計画を作ってほしい。

9月議会で本間信義代表監査委員より監査報告があり、「不能欠損額、収入未済額共に多い。今後各種交付金の減少も予想される。引き続き健全財政運営と行政改革を一層充実させ、町政の進展と福祉の向上に努力を望む。」との厳しい指摘があった。

議会も行政と共に、健全財政運営と行政改革の充実、町政の進展と福祉の向上に邁進しなければならない。

齋藤 晋記